

ソン・ミン・ギユウ

指揮者・ソウル市立交響楽団 副指揮者

+82 10 7695 4574・+49 177 644 7959

song.conductor@gmail.com / songconductor.com

主な役職

- 2025年より **ソウル市立交響楽団 副指揮者**
音楽監督：ヤープ・ヴァン・ズヴェーデン。同楽団初の指揮フェローシップを経て就任。
- 2024-2025 **韓国国立オペラ団 フェローシップ指揮者**

受賞・選考歴

- 2024 **グイード・カンテッリ国際指揮者コンクール**
優勝・オーケストラ賞・マネジメント審査員賞 / 審査員: Mark Hildrew (Askonas Holt)・Nicholas Mathias (IMG Artists)
- 2025 **ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団**
ベルナルト・ハイティンク・アソシエイト・コンダクター選考のショートリストに選出
- 2025 **ブザンソン国際若手指揮者コンクール**
セミファイナリスト
- 2024 **ひろしま国際指揮者コンクール**
第2位
- 2022 **エーリヒ・ベルゲル国際指揮者コンクール**
オーケストラ賞

指揮した主なオーケストラ

ヨーロッパとアジアで20以上のオーケストラを指揮。主な共演楽団：

- | | |
|------------------|---------------------|
| ベルリン・ドイツ交響楽団 | トスカーナ管弦楽団 |
| バンベルク交響楽団 | トゥルグ・ムレシュ国立フィルハーモニー |
| ベルリン・コーミッシェ・オーパー | ソウル市立交響楽団 |
| ケルンWDR放送管弦楽団 | 韓国国立交響楽団 |
| ボーfum交響楽団 | 広島交響楽団 |
| ミラノ交響楽団 | |

学歴

- 2017-2019 **ベルリン芸術大学 オーケストラ指揮専攻 修士課程**
スティーヴン・スローン、ハリー・カーティスに師事
- 2012-2017 **デトモルト音楽大学 オーケストラ指揮専攻 学士課程**
フローリアン・ルートヴィヒに師事

指揮助手としての活動・マスタークラス

マンフレート・ホーネック、ヤープ・ヴァン・ズヴェーデン、ユッカ=ペッカ・サラステ、エドワード・ガードナー、ジョナサン・ノット、サー・ロジャー・ノリントン、オスモ・ヴァンスカ、ヨハネス・シュレーフリ

ソン・ミン・ギユウ

指揮者・ソウル市立交響楽団 副指揮者

song.conductor@gmail.com / songconductor.com

ソン・ミン・ギユウは2025年よりソウル市立交響楽団の副指揮者を務め、音楽監督ヤープ・ヴァン・ズヴェーデンとともに活動している。同楽団初の指揮フェローシップを経て副指揮者に就任。それ以前は、2024年から2025年まで韓国国立オペラ団のフェローシップ指揮者として活動した。

2024年10月、イタリアのグイード・カンテッリ国際指揮者コンクールで韓国人指揮者として初優勝を果たした。リッカルド・ムーティ、エリアフ・インバル、アダム・フィッシャーらを輩出した同コンクールでは、オーケストラ賞に加え、アスコナス・ホルトとIMGアーティストの代表者によるマネジメント審査員賞も受賞した。そのほか、2024年ひろしま国際指揮者コンクール第2位、2022年エーリヒ・ベルゲル国際指揮者コンクールのオーケストラ賞を受賞。2025年にはブザンソン国際若手指揮者コンクールのセミファイナルに進出し、ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団のベルナルト・ハイティンク・アソシエイト・コンダクター選考でショートリストに選出された。ドイツ音楽評議会の「Neustart Kultur」奨学金の受給歴も持つ。

これまでヨーロッパとアジアで20以上のオーケストラを指揮している。共演楽団には、ベルリン・ドイツ交響楽団、バンベルク交響楽団、ベルリン・コーミッシェ・オーパー、ケルンWDR放送管弦楽団、ボーフム交響楽団、ミラノ交響楽団、トスカーナ管弦楽団、トゥルグ・ムレシュ国立フィルハーモニー、広島交響楽団などがある。また、ブランデンブルク州立管弦楽団フランクフルト（オーダー）、コトブス州立劇場、マクデブルク劇場、ノイブランデンブルク・フィルハーモニーでも経験を重ねた。

韓国ではソウル市立交響楽団、韓国国立交響楽団、韓国国立オペラ団などと共演してきた。韓国国立オペラ団のオペラ・スタジオで指揮を務めたほか、ワーグナーの《トリスタンとイゾルデ》《タンホイザー》、ヨハン・シュトラウス2世の《こうもり》のプロダクションで指揮助手を担当。アンサンブルTIMFとは韓国人作曲家の新作初演にも携わった。2025年にはソウル・アーツ・センターの新年音楽会で韓国国立交響楽団と韓国国立合唱団を指揮し、同交響楽団のシーズン開幕公演も担当した。

韓国に生まれ、15歳でドイツに渡る。高校在学中にデトモルト音楽大学へ入学し、ハーゲン劇場の元音楽総監督フローリアン・ルートヴィヒにオーケストラ指揮を学び、2017年に学士課程を修了。続いてベルリン芸術大学でスティーヴン・スローンとハリー・カーティスに師事し、2019年に修士号を取得した。

指揮助手としての活動やマスタークラスを通じて、マンフレート・ホーネック、ヤープ・ヴァン・ズヴェーデン、ユッカ＝ペッカ・サラステ、エドワード・ガードナー、ジョナサン・ノット、サー・ロジャー・ノリントン、オスモ・ヴァンスカ、ヨハネス・シュレーフリらから学び、音楽的な経験を深めてきた。

ピッツバーグ交響楽団音楽監督のマンフレート・ホーネックは、その指揮について次のように述べている。「彼は非常に音楽的で、自分の求めるものを明確に理解し、指揮台でその考えを極めて明瞭に伝えることができます。楽譜への深い理解と、想像力豊かな音楽性が印象的でした。」